

令和8年6月8日
南会津町
三井物産株式会社
関東地方環境事務所

尾瀬国立公園「田代山地域における南会津町・三井物産株式会社・ 環境省関東地方環境事務所との連携・協力に関する協定」の締結について

福島県南会津郡南会津町（町長：渡部正義）と三井物産株式会社（本社：東京都千代田区、社長：堀 健一、以下「三井物産」）、環境省関東地方環境事務所（埼玉県さいたま市中央区、所長：庄子 真憲）は、貴重な地域資源である尾瀬国立公園の田代山の保全と活用に関して、官民連携により相互に連携・協力して取組を進め、田代山の魅力向上と持続可能な利用を推進することを目的に連携協定を締結します。

【協定調印式】

日 時：令和8年6月13日（土）午後3：00～

場 所：みなみあいづ森と木の情報・活動ステーション「きとね」

署名人：渡部正義（南会津町長）

恩田ちさと（三井物産株式会社 執行役員サステナビリティ経営推進部長）

庄子 真憲（関東地方環境事務所長）

1. 協定締結の背景

南会津町は、町の総面積の約92%、81,000haを超える広大な森林面積を有する自然豊かな町です、その中において尾瀬国立公園の田代山は、世界的にも稀な台地状の山頂湿原を有する貴重な地域資源となっており、長く登山者に愛され続けています。

町は、この貴重な地域資源を後世に引き継ぐための保全の取組と同時に有効活用による交流人口の拡大を目指しています。

三井物産は、国内76か所に約45,600haの社有林『三井物産の森』を保有しており、その一つである田代山林では、山頂湿原を含む約999haの森林を管理しています。「日本の森林の価値向上を牽引し、持続可能な未来づくりに貢献すること」を掲げ、全山林でFSC®認証およびSGEC認証を取得の上、三井物産フォレスト株式会社と一体となり高度な森林管理を推進しています。* 地域のステークホルダーとの連携を通じて森林の多様な機能を守り育てるとともに、その価値を適切に発揮・活用し森林管理へと還元することで、持続可能な森林経営の実現を目指しています。

環境省は、福島県と共同で「ふくしまグリーン復興構想」を策定し、福島県の優れた自然環境を代表する国立公園・国定公園の魅力向上、自然資源や歴史、文化、景観、食、温泉などの地域資源を取り入れた自然公園間を広域的に周遊する仕組みづくりなどにより、自然環境の保全と調和を図りながら適正な利用を促進し、交流人口の

拡大を目指して取組を進めています。当年3月には、更なる取組の強化に向け、「自然環境の保全と自然保護意識の醸成」と「自然公園の滞在環境等の上質化」を取組の柱とするふくしまグリーン復興構想（第二期）を策定しました。当構想のもと、ネイチャーポジティブの実現や、来訪者の滞在期間や頻度の増加や満足度向上などを目指し、官民連携等による保全と利用の好循環の創出などに取り組んでいます。

今回の協定締結を機に、それぞれが持つ特性とノウハウを融合し、次の連携事項を進めることによって、官民連携による尾瀬国立公園の田代山の持続可能保全と活用に取り組んでまいります。

2. 連携事項

- (1) 田代山の自然環境の保全に関する事
- (2) 田代山の持続可能な利用に関する事
- (3) 木道の整備に係る三井物産から南会津町への資材・労務等の提供に関する事
- (4) 森林資源の有効活用と持続可能な森林管理に関する事
- (5) 前各号に掲げる事項に付帯関連し、本協定の目的を達成するために必要な事項に関する事

*三井物産 FSC® FM 認証ライセンス番号：FSC®-C057355

三井物産 SGEC FM 認証ライセンス番号：SGEC/31-21-1101

三井物産 フォレスト FSC® CoC 認証ライセンス番号：FSC®-C031328

三井物産 フォレスト SGEC CoC 認証ライセンス番号：SGEC/31-32-1106